

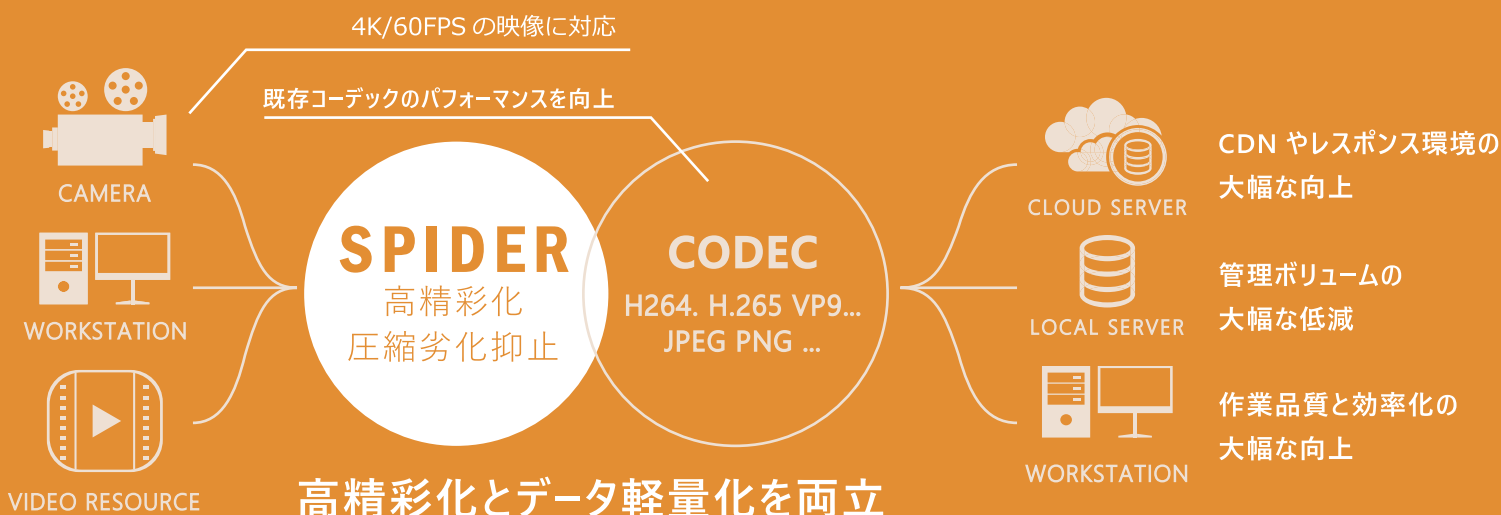


SPIDER

高精彩化 + 圧縮劣化抑止

SPIDER は、画像や動画をどこよりもキレイにそして軽くできるビットレート削減による画像劣化抑止や高精細化の両立が可能なテクノロジーです。4K/60FPS 含む動画・画像等をエンコード（圧縮）した際に、ビットレート削減による画像劣化抑止を行うテクノロジーです。

SPIDER を導入する事で、圧縮時にデータサイズを更に 50%以下のデータレートとして設定しても高品質な状態で、動画、画像を生成することが出来る為、エンコードテクノロジーとの親和性が抜群です。同一のコーデックを用いて、更に 50%以下（ビットレートを削減）にした低レートでも動画の解像感を維持できます。勿論、H.265 や VP9 といった次世代のコーデックでより一層実感することが出来、時代と共に進化していきます。配信に関わる費用の削減やコンテンツ伝送のスピードアップなど、IOT におけるトラフィックの課題を解決できる唯一の存在として、インフラの共通課題を解決できます。



50%
データ削減効果

同一のコーデック使用時に 50%以下のデータレートを実現。

SPIDER は、エンコードテクノロジーとの親和性が抜群です。

同一のコーデックを用いて、50%以下（ビットレートを削減）にした低レートでも動画の解像感を維持できます。勿論、H.265 や VP9 といった次世代のコーデックでより一層実感することが出来、時代と共に進化していきます。更にリアル処理で 4K や VR といった高品質な映像、HD、SD といった映像のアーカイブ等、様々な動画サイズに対応しています。

2倍
以上の伝送スピード

ランニングコストの低減。サーバー・伝送コストを半分に

SPIDER 導入により、既存のインフラや CDN でも高速伝送が可能となり、よりレスポンスな視聴環境をユーザーに提供できます。更に、SPIDER で処理を行った軽量データを活用する事で、AI やディープラーニング等の解析環境スピードアップにもご使用頂けます。同時に既に導入済みのサーバー費用や伝送コスト、ユーザーの通信パケット費用を削減することが出来ます。大元のサーバーのデータサイズを削減する事で、エッジサーバー等への伝送速度、導入済み配信システムのパフォーマンスが大幅に向上します。

4K
60fps

LIVE

リアルタイム処理

LIVE 処理で実行。放送、配信、制作への活用

更にハイレベルなクリエイティブ基盤構築が可能。

動画・画像は、より鮮明なコンテンツを制作する程、データサイズが大きくなります。4K を取り扱う為には、データサイズが大きすぎるため、機材や人件費コストが大きく嵩みます。SPIDER は、「コンテンツ品質保持・向上」と「データ容量の縮小」が両立出来る為、更にハイレベルなコンテンツを提供出来、大幅なワークフローの改善が可能です。

4K SPIDER

高精彩化
+
圧縮劣化抑止

データ圧縮

SPIDERにより両立が可能

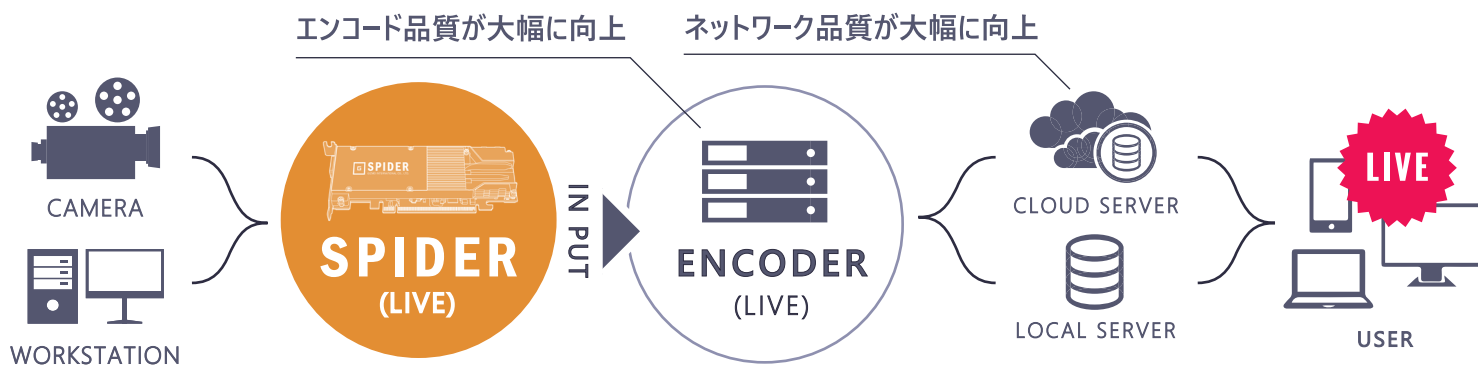
次世代のアップスケール アーカイブテクノロジー

SPIDER 4K とは、圧縮劣化抑制テクノロジー SPIDER により HD コンテンツなどを施した動画データです。SPIDER による「映像データの縮小」と「高精彩化」が両立可能な画像処理テクノロジーを使用している為、アップコンバートと、ダウンサイズの両立が可能です。制作側で使用するだけで、既存のコーデックの品質を向上させるだけでなく、ワークフローや配信フロー、既存のネット回線品質が大幅に向上します。

CASE1

SPIDER + ENCODER

- 劣化抑制技術によりコーデックの圧縮率を大幅に向上！
- 既存のエンコーダー含む機器や配信方式との組み合わせ OK。
- エンコード品質が向上する事で、既存ネットワーク品質も大幅に向上します。



CASE2

SPIDER × UP CONVERT × ENCODE

- HD → 4K 等のアップコンバート時のにじみ・ボケといった劣化成分を大幅に低減。
- HD 以下の映像・画像の品質を大幅に向上し、高精細な 4K 映像にする事が出来ます。
- HD コンテンツによる放送 / 配信の高精彩 4K 化がリアルタイムで行えます。

